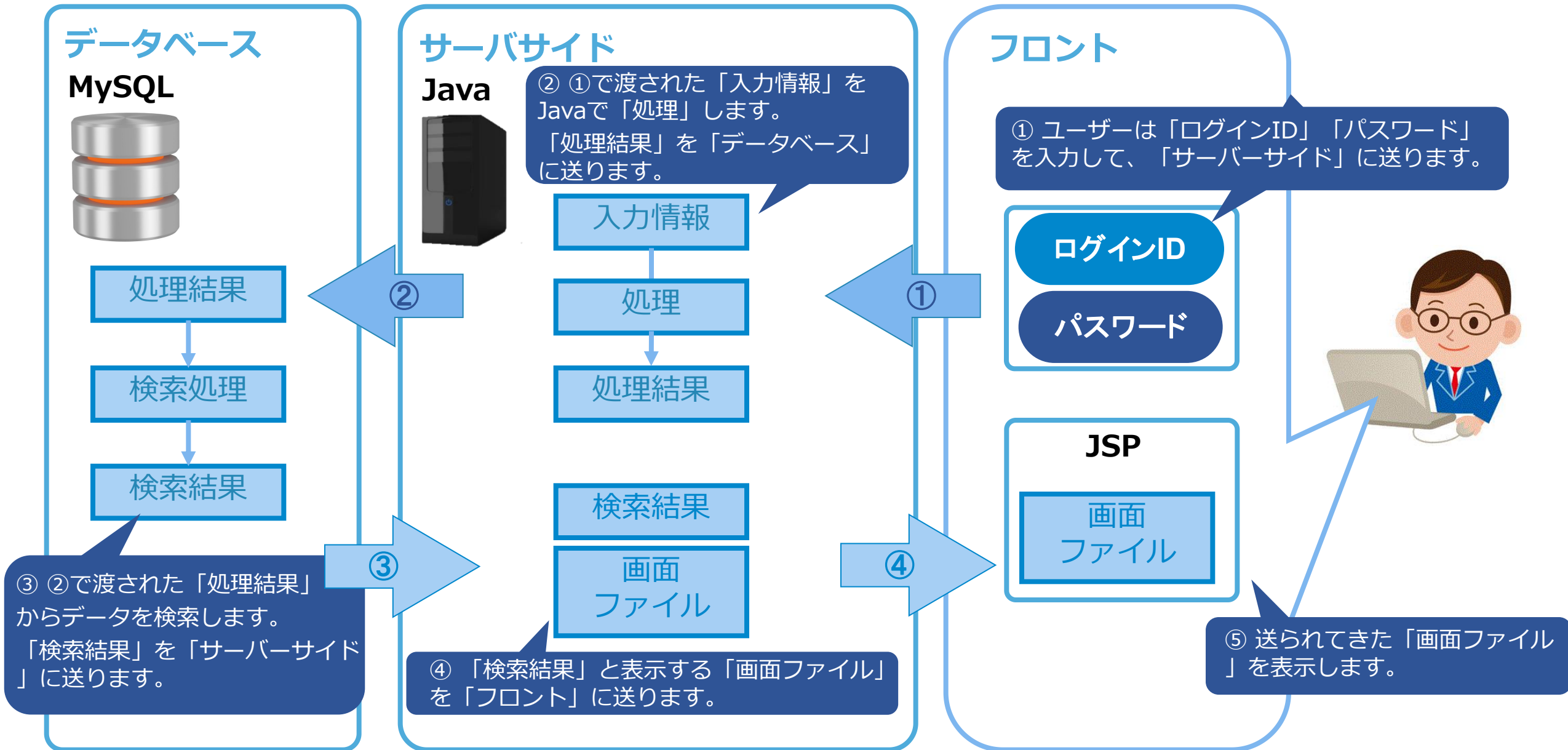

ログイン認証

動的Webプロジェクト／Struts2フレームワーク

1 時間目

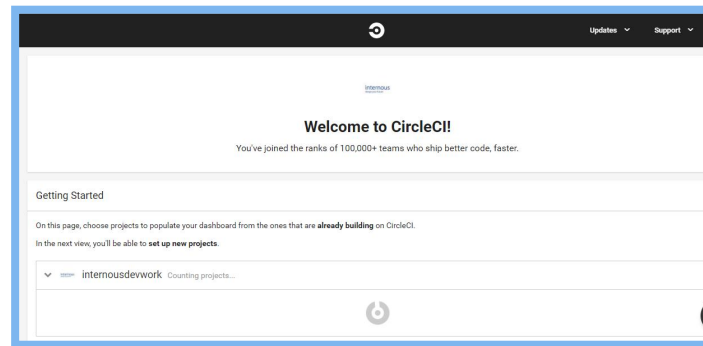
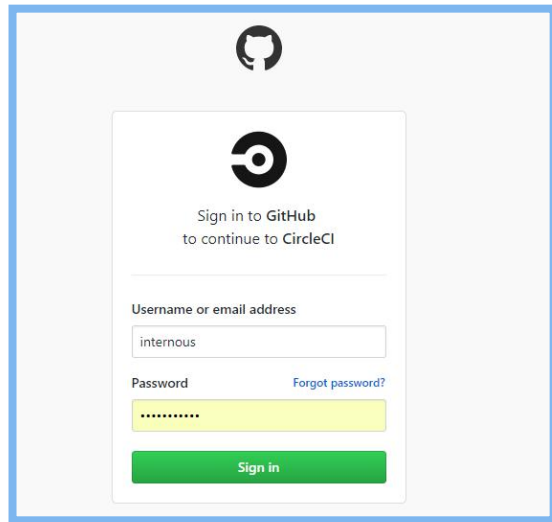
全体の流れについて



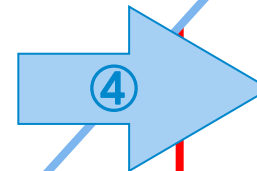
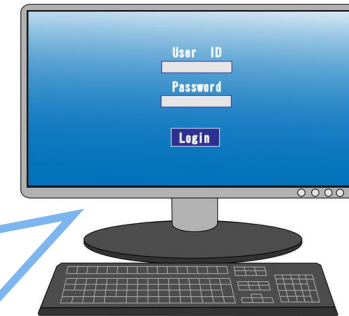
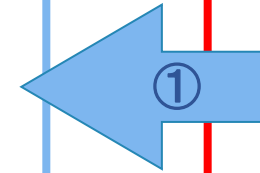
全体の流れについて

フロントとは

ブラウザ(IE、Chrome、FireFoxなど)でサイトを開いたときに表示される画面のことです。



フロント



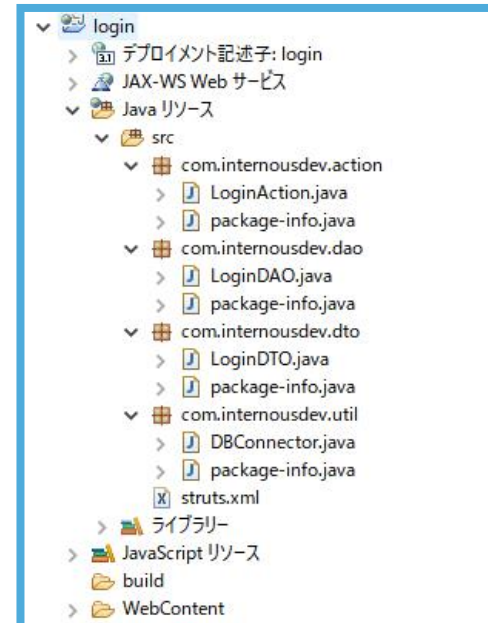
全体の流れについて

サーバサイド Java



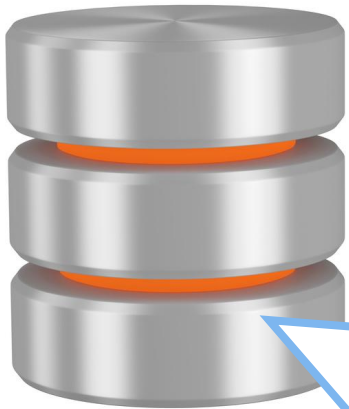
サーバーサイドとは

サーバーで動くプログラム言語で作られた機能群のことです。今回はJava言語を使うので、Java言語で作られた機能群のことだと覚えてください。



全体の流れについて

データベース MySQL



②

③

データベースとは

データを保存、検索、取得、削除することができる情報の領域です。

```
mysql> show databases;
+-----+
| Database |
+-----+
| information_schema |
| creditcard_manager |
| ecsite         |
| komozon        |
| mysql          |
| openconnect    |
| performance_schema |
| sakila         |
| solare         |
| sys            |
+-----+
10 rows in set (0.20 sec)

mysql> use openconnect
Database changed
mysql>
mysql> select * from user;
+----+-----+-----+
| id | user_name | password |
+----+-----+-----+
| 1  | taro      | 123      |
| 2  | jiro      | 123      |
| 3  | hanako    | 123      |
| 4  | saburo    | 123      |
+----+-----+-----+
4 rows in set (0.01 sec)

mysql>
```

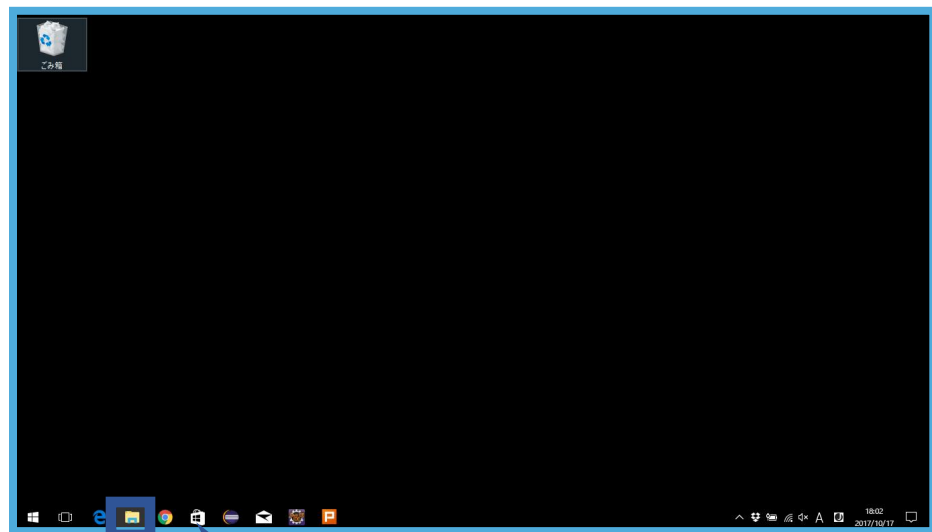
- 1) 全体の流れについて
- 2) 作業環境を作成
 - 1 : Eclipseを起動
 - 2 : 動的Webプロジェクトの作成
 - 3 : Struts2フレームワークを配備
 - 4 : プロジェクト内にpackageの作成

Eclipseを起動

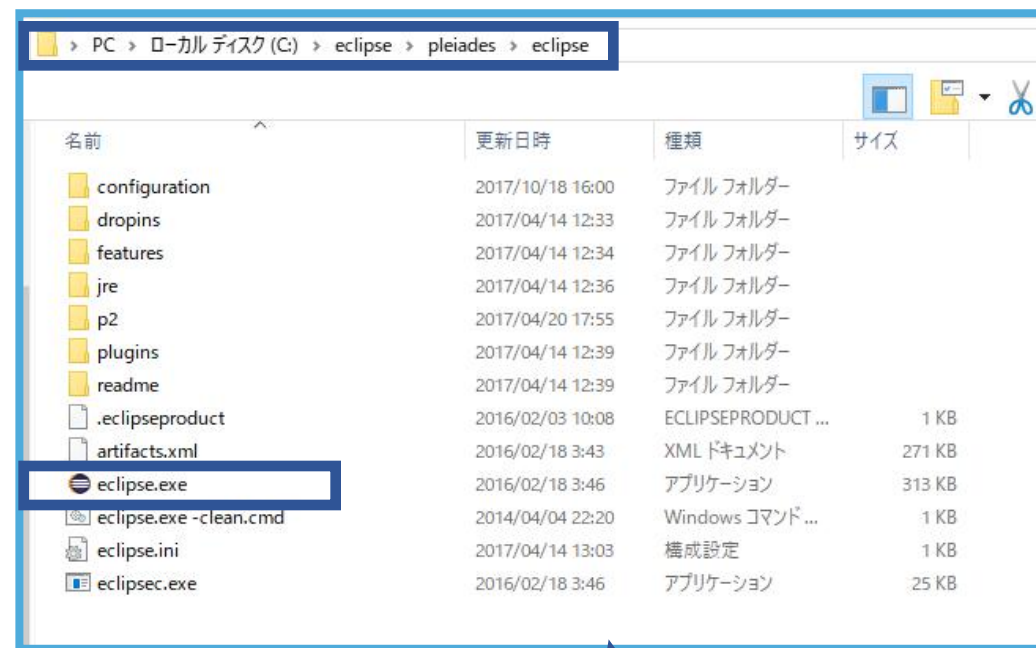
解説

Eclipseには、Javaでプログラミングする為に必要なツールが用意されてます。
他のエディターでもプログラミングはできますが、職場ではEclipseのようなツールを使う場合が多いです。

1 Eclipseを起動



① ホーム画面の「Windowsエクスプローラー」アイコンをクリックします。



② 「eclipse.exe」を探します。
インストール方法やパソコン環境によって、保存場所が異なる可能性があります。（③④参照）

③ 「C」 「eclipse」 「pleiades」 「eclipse」 へ移動します。
「eclipse.exe」をダブルクリックして起動します。

Eclipseを起動

④ ③と異なるパスパターン時の実行です。



⑤ 「C」 「pleiades」 「eclipse」 へ移動します。

「eclipse.exe」をダブルクリックして起動します。



⑥ 「eclipse.exe」をクリックした後どちらのパターンもEclipseのタイトル画面が表示されれば、起動成功です。

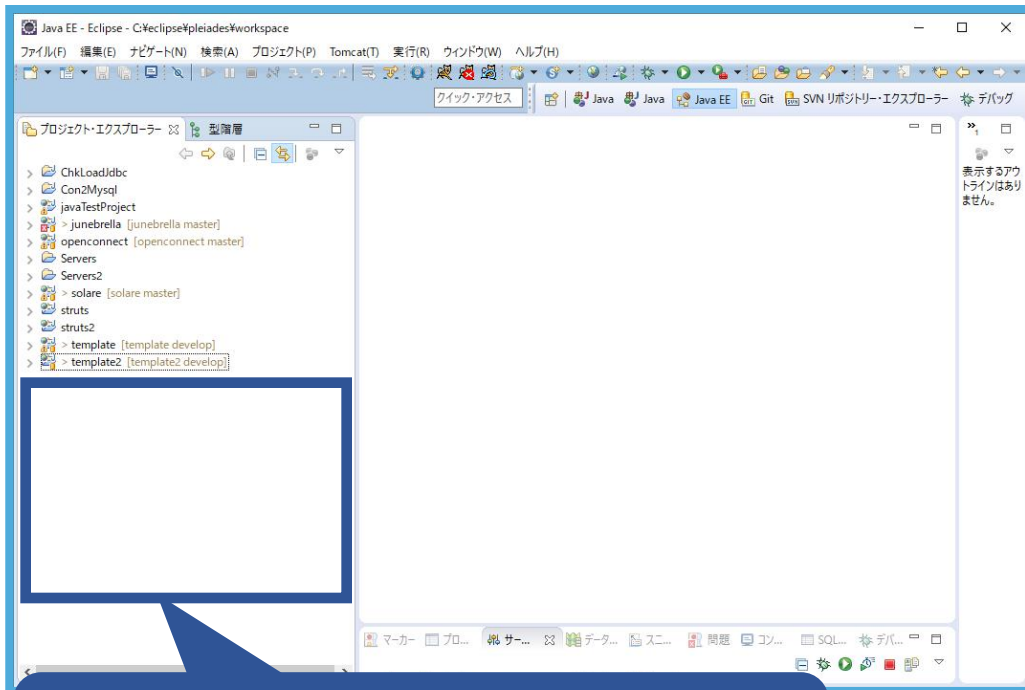
(上図はバージョン4.5で起動しています。)

動的WEBプロジェクトの作成

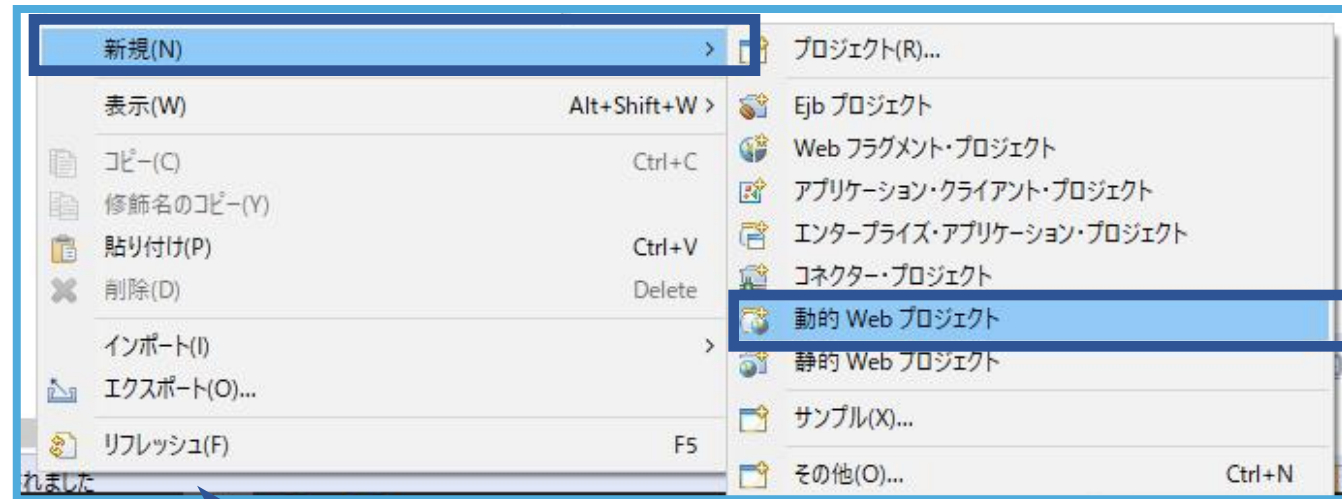
解説

動的Webプロジェクトでは、Javaを利用した動き(変化)があるWebページを作成できます。
例：ログインしたユーザ情報によってページに変化(動き)を付ける。

2 動的Webプロジェクト

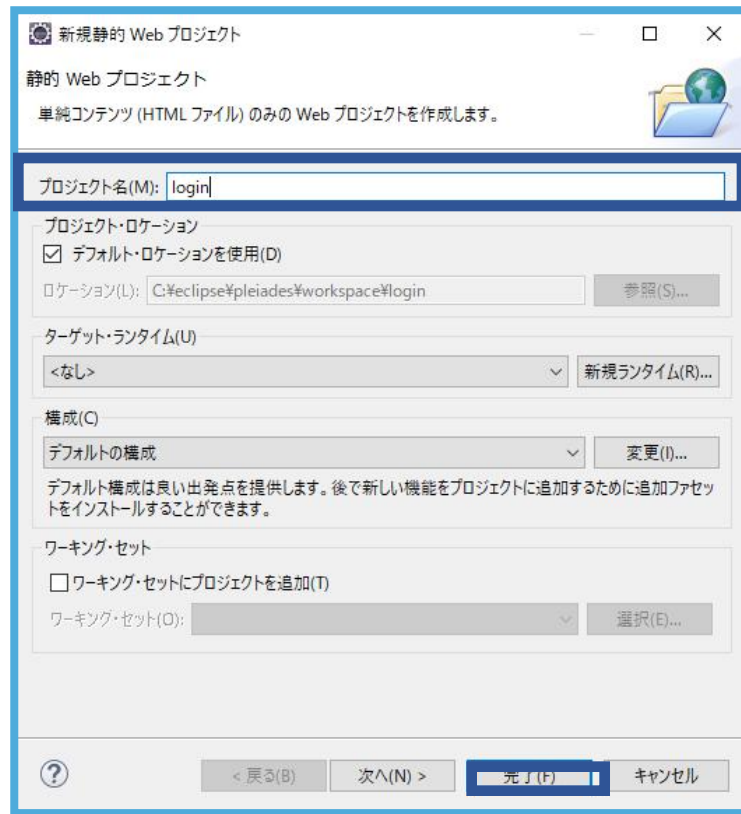


① 「プロジェクト・エクスプローラー」の余白部分で右クリック

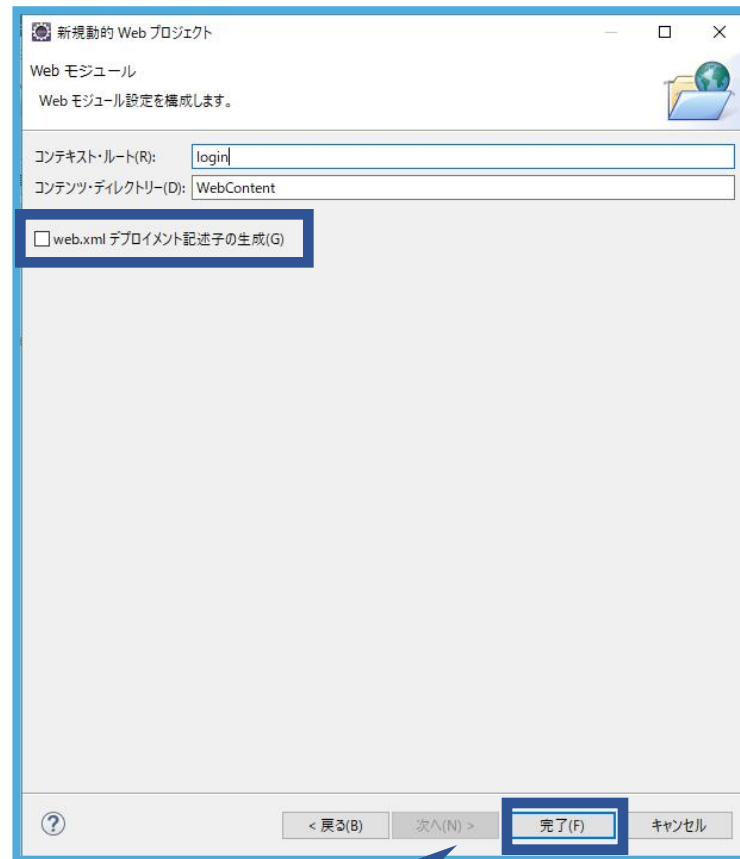


② 「新規」「動的webプロジェクト」の順番で選択します。

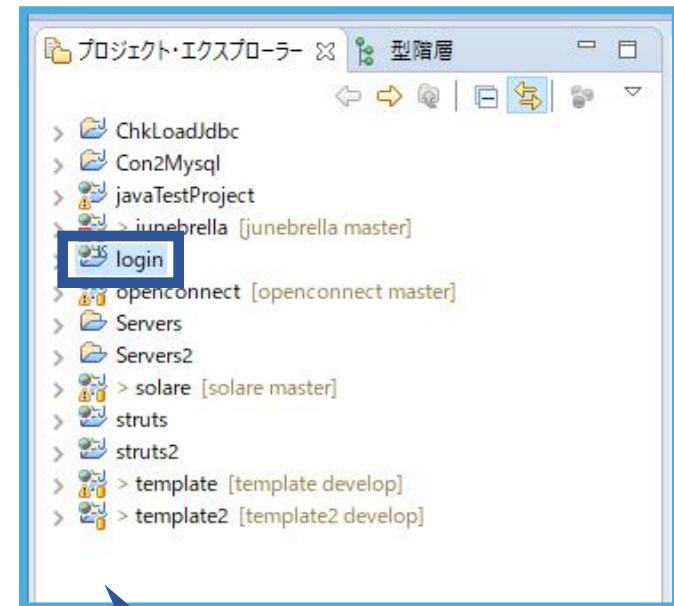
動的WEBプロジェクトの作成



① 「プロジェクト名(M):」の欄に「login」と入力します。完了ボタンをクリックします。



② 「web.xmlデプロイメント記述子の生成(G)」をチェックします。完了ボタンをクリックします。



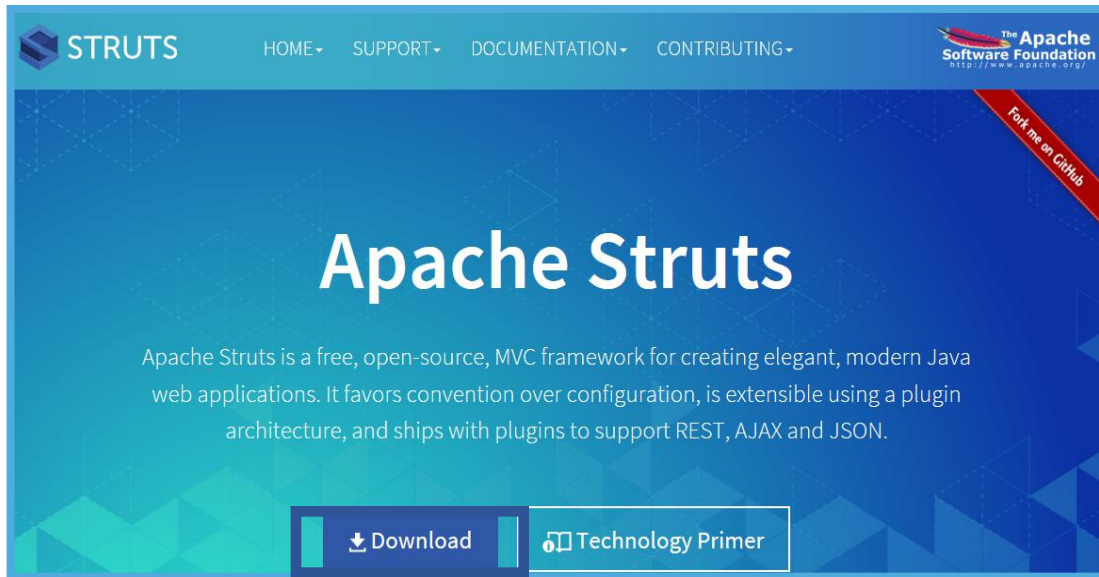
③ 「プロジェクト・エクスプローラー」に「login」プロジェクトが作られていれば成功です。

Struts2フレームワークを配備

解説

Struts2フレームワークを利用してプロジェクトを作成するには、Strutsの公式サイトからフレームワークのjarファイルをダウンロードする必要があります。

3 Struts2フレームワークを配備

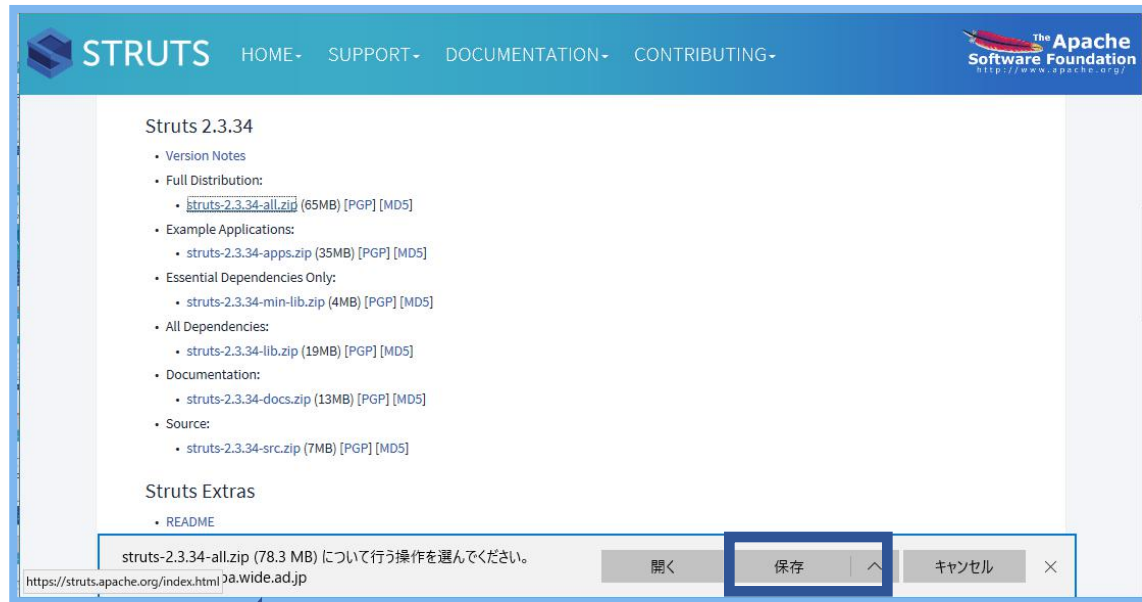


① 「<http://struts.apache.org/>」にアクセスし、「Download」ボタンをクリックします。

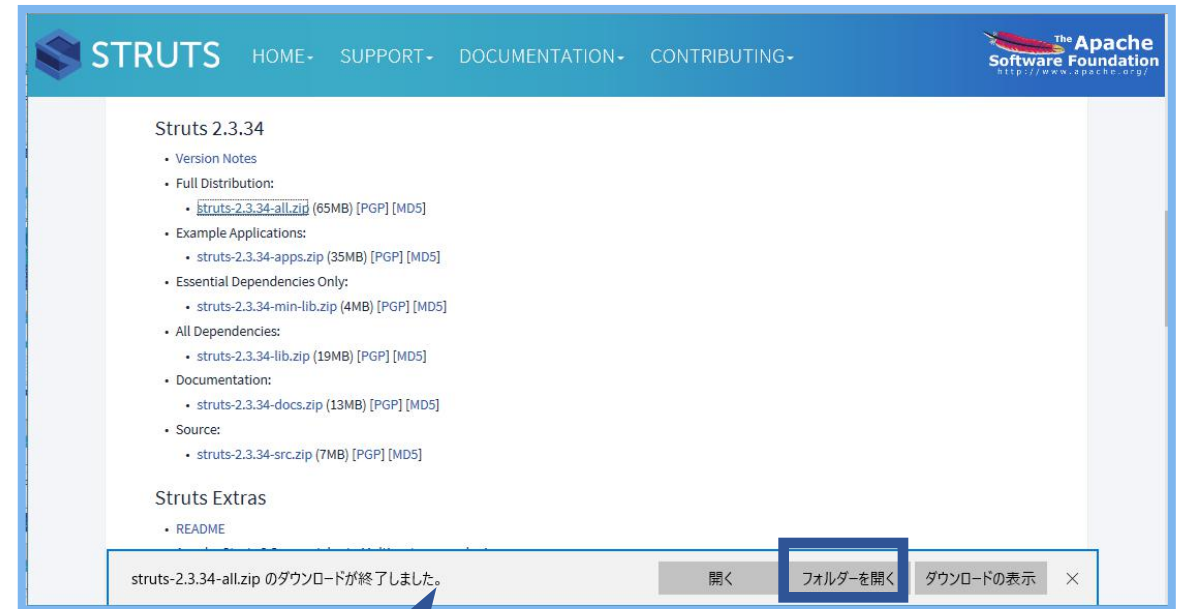


② 「struts-x.x.xx-all.zip」をダウンロードします。
無事に完了したら必要なjarファイルが揃います。
※Strutsのバージョンは2.3.xx系を利用してください
他のバージョンでは互換性はありません。その為、ここでは2.3.xxを選択してゆきます。

Struts2フレームワークを配備

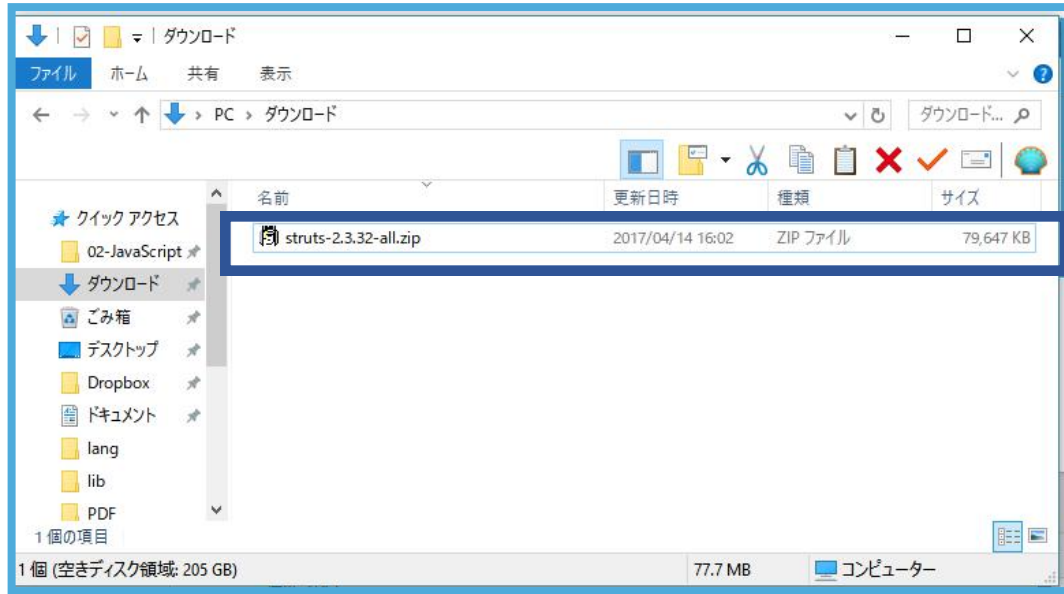


③ 「保存」をクリックしてください。

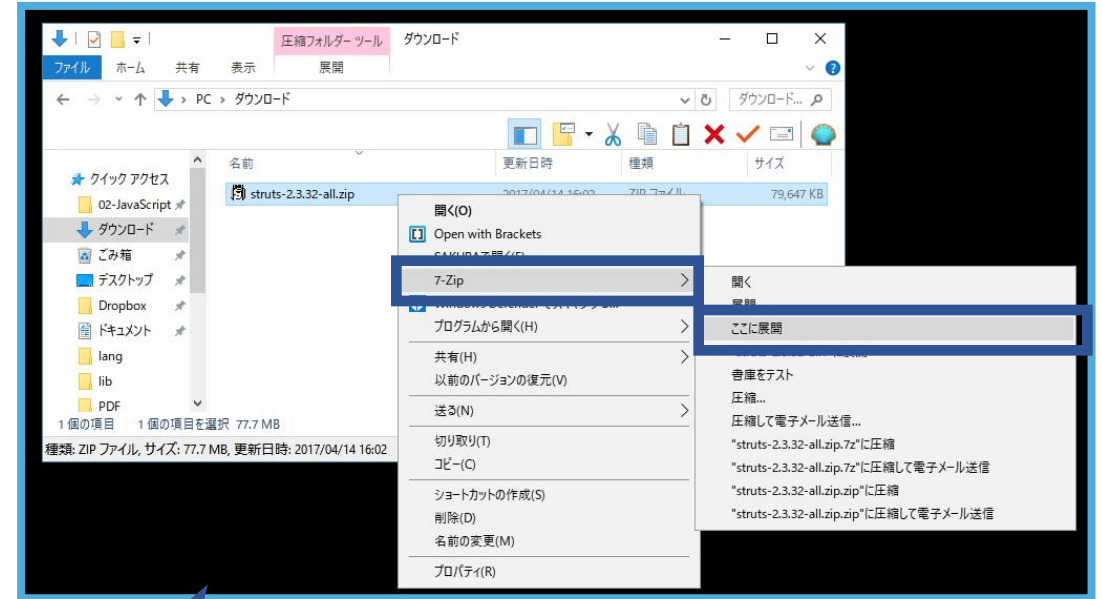


④ ダウンロードが完了後「フォルダを開く」ボタンをクリックします。

Struts2フレームワークを配備

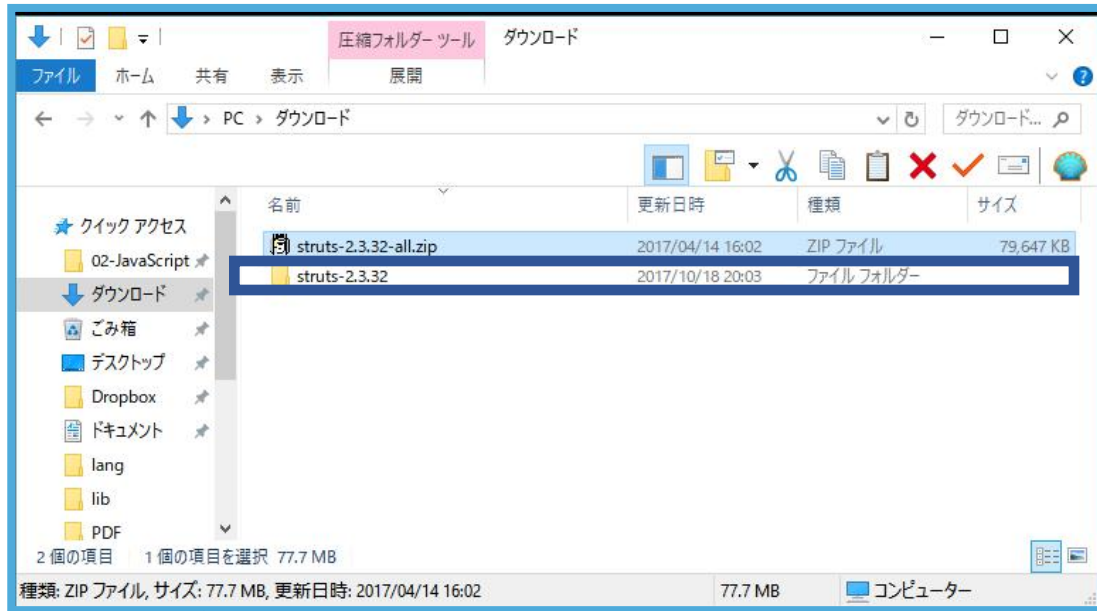


⑤ ダウンロードファイルが格納されている「ディレクトリ」が開きます。
「struts-x.x.xx-all.zip」を探します。

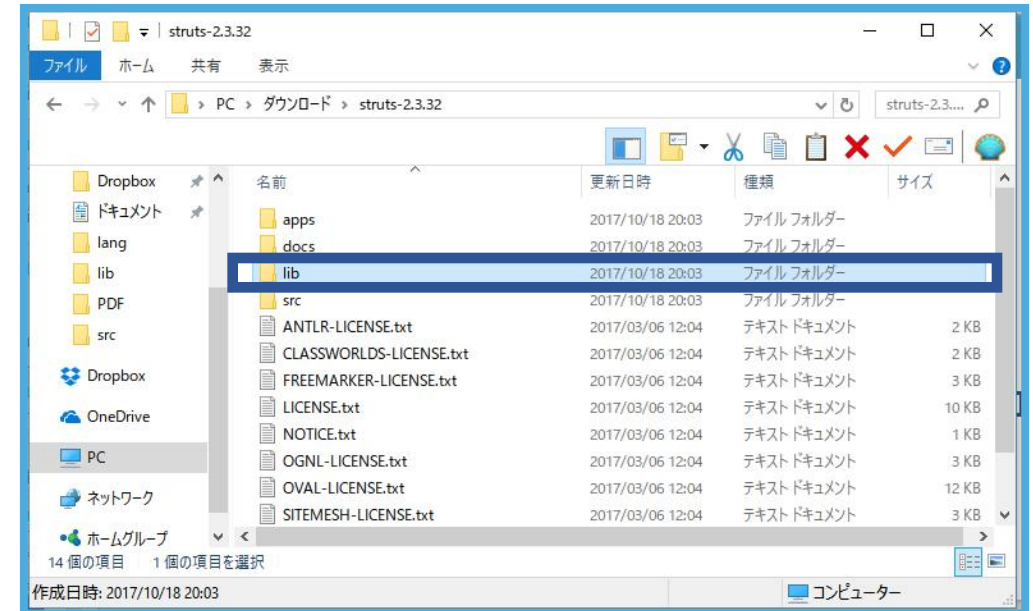


⑥ 「struts-x.x.xx-all.zip」を右クリックし、「解凍」または「展開」します。

Struts2フレームワークを配備

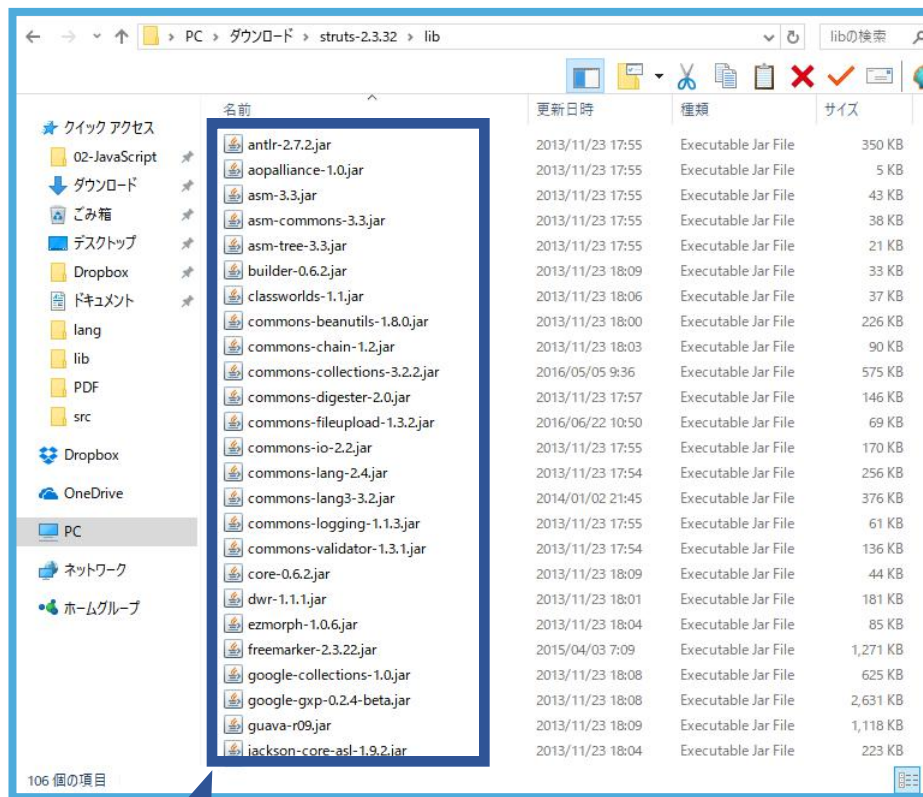


⑦ 解凍が終わると「struts-x.x.xx」という名前のディレクトリが増えます。
「struts-x.x.xx」をダブルクリックします。



⑧ 「struts-x.x.xx」ディレクトリの中に「lib」ディレクトリがあります。
次に「lib」ディレクトリをダブルクリックします。

Struts2フレームワークを配備

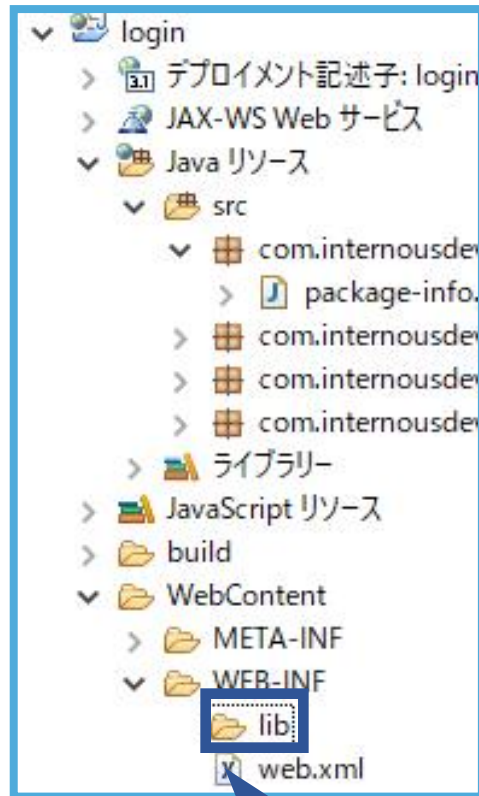


⑨ 「lib」ディレクトリの中には多くの「jar」拡張子ファイルが存在します。「strutsフレームワーク」に必要なファイルだけを取得します。

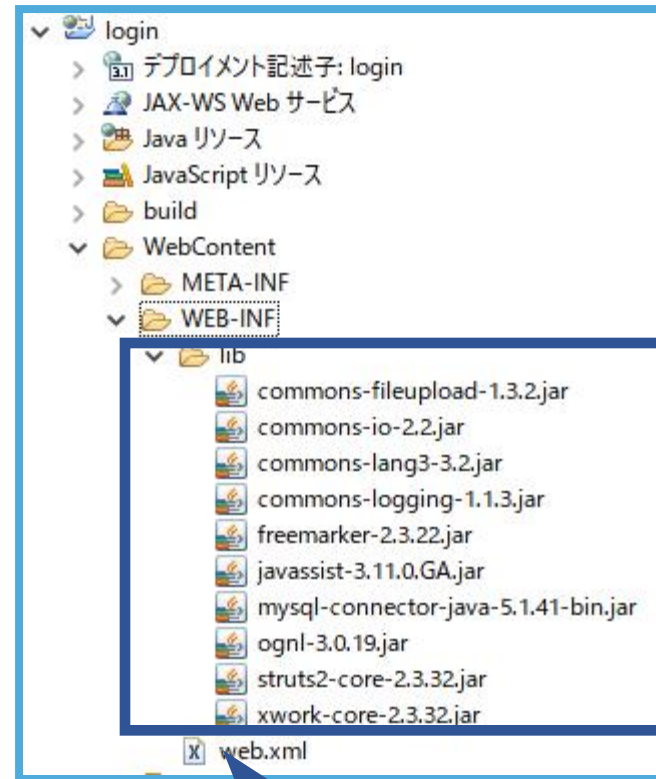
commons-fileupload-1.3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	69 KB
commons-io-2.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	170 KB
commons-lang3-3.2.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	376 KB
commons-logging-1.1.3.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	61 KB
freemarker-2.3.22.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	1,271 KB
javassist-3.11.0.GA.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	600 KB
ognl-3.0.19.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	226 KB
struts2-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	854 KB
xwork-core-2.3.32.jar	2017/04/14 16:13	Executable Jar File	663 KB

⑩ 上記の9つのjarファイルを探します。

Struts2フレームワークを配備

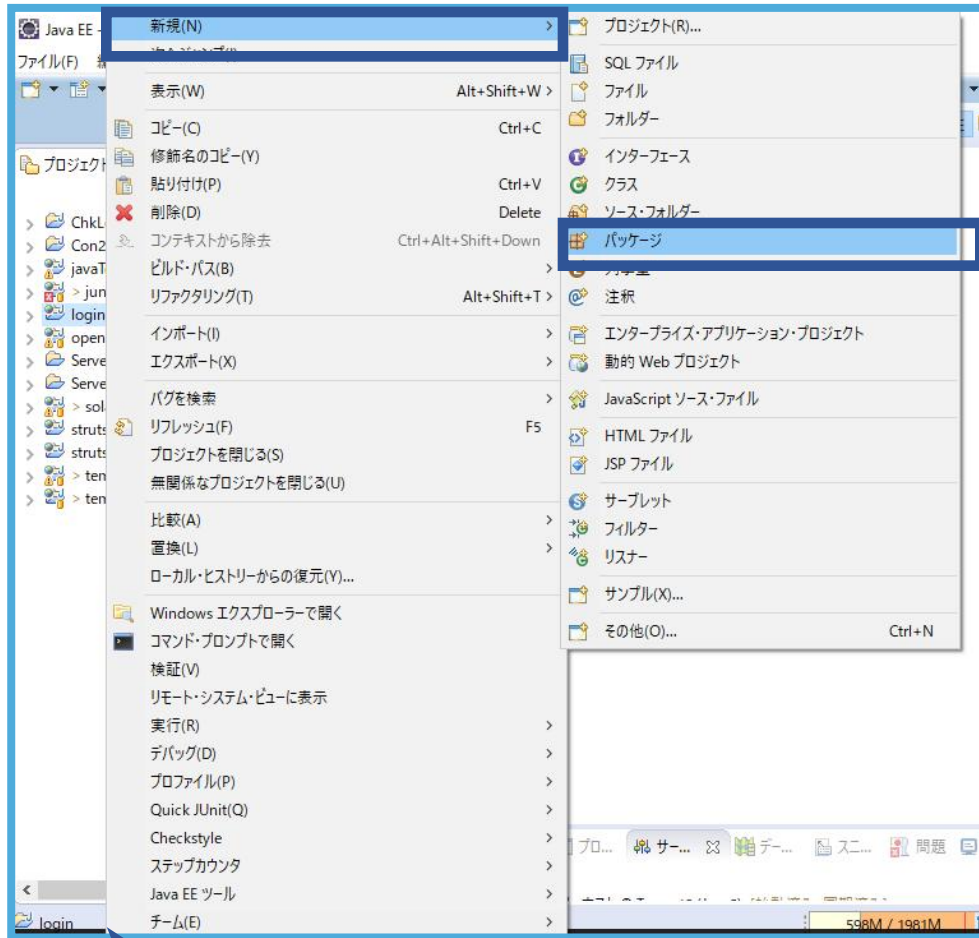


⑪ ⑩の各jarファイルをコピーします。
「プロジェクト」「WebContent」「WEB-INF」
「lib」ディレクトの中に貼り付けます。

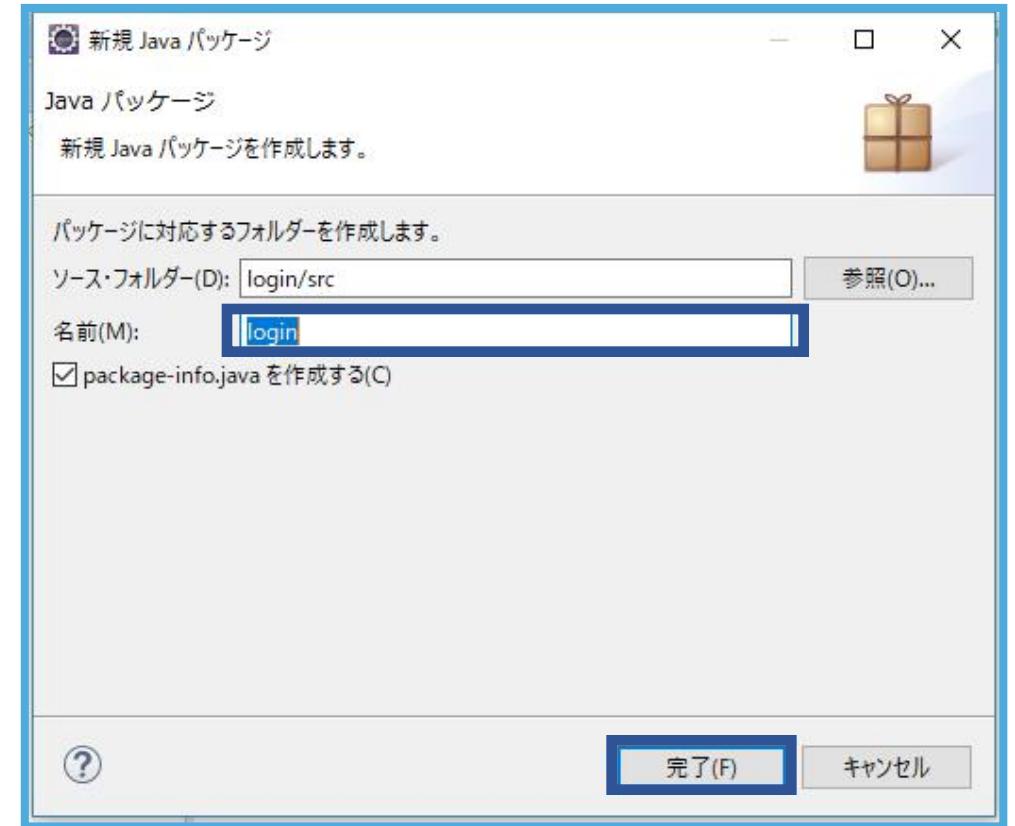


⑫ 「lib」ディレクトリの中にコピーした
jarファイルが入れば成功です。

プロジェクト内にpackageの作成

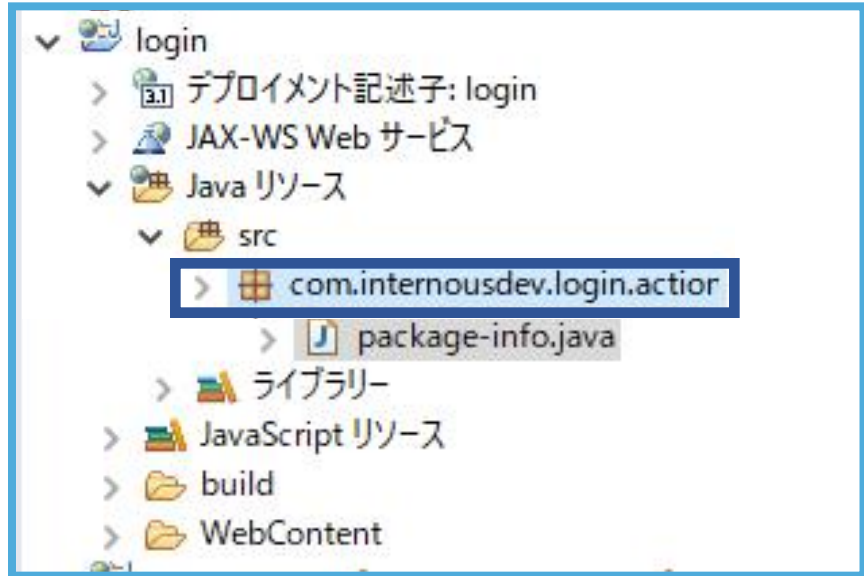


① 「プロジェクト」を右クリック、
「新規」「パッケージ」を選択します。



② 「名前(M):」の欄にパッケージ名を入力します。
今回は「com.internousdev.login.action」と
入力して完了をクリックします。

プロジェクト内にpackageの作成



③ 入力したパッケージが作成されていれば成功です。



④ ①～③の手順を後3回繰り返します。
以下のpackageを作成します。

1. "com.internousdev.login.dao"
2. "com.internousdev.login.dto"
3. "com.internousdev.login.util"

⑤ 全部で4つpackageを作成すれば完了です。